

〔中小企業の目〕（徳山）

「経営者の真の役割とは……」

小 松 宗 介

（齊藤段ボール株式会社）
代表取締役社長



私は昭和23年生まれ、所謂団塊の世代です。平成27年の9月に満67歳になりました。資本金1,200万円、年間売上6億円弱。約30名の社員と共に、一年間懸命に働いても目標とする利益を確保できずにいる、俗にいう零細企業の社長をこの歳になってもやっています。立派なこととは言えませんし、この文章を読む人の記憶に残して頂けるような自信もありません。しかし、この世に生を受け、これまでに感じたこと、思い等を素直な心で書いてみたいと思います。

私は二代目です。弊社は昭和44年3月創業、厳父が初代社長、平成6年9月に肝臓がんにて引継ぎもなく突然他界。否応無く残された社員を守るため、事業を承継した訳です。

皆さんはびっくりなさるかもしれませんが、それまでの弊社には明確な方針、理念等はなく、創業者である前社長の独裁・独断・即決・即行で、右肩上がりの経済状況の中、そこそこ順調に会社が維持されていました。

しかし、バブルが弾けてからは、極めて厳しい経営状況が続いていました。その矢先での先代の突然の他界は、内外共に非常に大きな不安と将来への危惧を持たれたり、与えていたりしていたのではないかと思います。

そこで経営者としての、実績が何もない私は、まず社員一丸となる為には何が必要かと考え抜いたすえ、「我が社の経営理念」「経営目標」「基本方針」を、社員が理解しやすく、明確に示すことを実行に移すことにした訳です。考え方の第一として、行動規範を「あなたと私は私達」～全員で同じ方向を向いて力を合わせ、常に前進あるのみ～とし、年度初めに「経営計画会議」なるものを全員出席で実行することに致しました。

我が社の経営理念

事業とは思いやりの競争である

常に感謝の心を忘れずに誠意と真心を以て社会への貢献を実現しよう

(1) 全ての基本は礼儀にある

お客様は神様です。今、あなたにとってのお客様とは誰なのかを常に意識しながら仕事をすることです。

私達を取り囲んでいる「家族」「仲間」「得意先」「仕入れ先」全てがお客様であり、師と呼ぶべき人なのです。

そう信じて行動して、初めて感謝の心が芽生えて、自然に頭を垂れることが出来るのではないかと考えます。

「礼に始まり、礼に納まり、礼に終わる」

そうすることにより、そこに和が生まれ、明るい豊かな明日が見えてくるのです。

(2) 人間性を豊かにするように絶えず努力しよう

人生を楽しいものにすることが出来るか否かは、その人の考え方一つに掛かっているといっても過言ではありません。

今、自分が「誰のために 何が出来るか！」を、常に意識しながら行動し努力をしていくことが出来るなら、どんなに楽しいでしょう。

あなたの側にいる人たちの幸せを常に願うことができたなら、なんとすばらしいことでしょう。

豊かな人生とは、そんな思いやりの心の積み重ねではないでしょうか。その為には、やはり自分自身を常に磨く努力を怠らないことです。

(3) 常に誠意・熱意・真心を以て接しよう

どんなに良い製品も、誠意をもって接していなければお客様は決して買って下さいません。

又、やっとの思いで製品を買って頂いても熱意を以てお客様に尽くしていなければ取引を継続しては頂けません。

そして、どんな時でも真心を忘れたら、お得意様の信頼は、決して勝ち得ることができないでしょう。

私達は常にお得意様の信頼に応えるために総力を結集し、何事にも果敢に挑戦し、豊かな創造力を発揮することによって、企業のより良い永続的な発展に努めることを強く決意しなければならぬのです。

以上、3点を「我が社の経営理念」として発表致しました。

それと同時に「長期事業構想」も提示し、今後10年間で、どの様な会社になりたいのか会社の進む方向を明確にし、年度毎に「本年度のテーマ」「重点実施項目」「経営目標」を決定し、社員に対しても全員が各部各課及び個人目標を明示することに致しました。

又、それに先駆けて弊社の社員としての心構えを基本方針として5項目決定。

基本方針

1. お得意様第一主義に徹底すること

・お得意様の要求を充たすことは、面倒臭く、能率が悪く、経費が掛かることを肝に銘じて、ひたすら尽くすこと。

・給料の源は、お得意先である、ということを常に意識し、行動すること。

2. 今与えられている仕事に使命感をもつこと

・常に感謝の心を忘れずに、命ある限り世のため、人のため全力を尽くすことを誇りとする。

3. 礼節を重んじること

・自分以外の人とは、皆我が師であるとの心を常にもって人と接すること。

4. 基本に徹すること

・決められたことを必ず守り、誰にでもできる当たり前のことを、当たり前にやり続けること。

・「報・連・相」(報告・連絡・相談)の徹底

5. 環境整備

・私達の職場を、私達のために、私達の手で、美しくする。

その他の方針として7件、1. 環境整備 (5Sの徹底～具体的な目標) 2. お得意先様への心構え 3. 営業活動についての心構え 4. クレーム処理 5. 内部体制 6. 社員の心構え 7. 購買仕入れに関する件など、それぞれに実施方法、項目を設け、誰もが、これを読めば、いつ、いかなるときでも同じように、どう考えどう行動すれば良いのかをまとめて、全員に提示致しました。

それから、約20年、弊社の何が良くなったのかは、結果としては、まだよく分かりませんが、一つだけ分かったことがあります。それは何事も、すぐに行動を起こし、必死になり真剣にやっている時は、必ず、必要な時に必要な人、つまり助けてくれる人が登場してくる、ということです。決して求めているわけではないのですが、とにかく突然私の人生の中に現れて助言してくれたり、様々な方法で、良い方向へ良い方向へと導いてくれたりする人が出て来るのです。これだけは、私が確信出来た唯一の真実です。

「経営者の真の役割とは……」をテーマに掲げた訳ですが、支離滅裂な文章になりました。年齢67歳ですが、あと5年は頑張るつもりです。

「青春とは、人生の或る期間を言うのではなく心の様相を言うのだ」サミエル・ウルマンの「青春」という詩の一番最初の言葉です。これからも常に私の心は、こうありたいものです。ありがとうございました。